

高齢化社会の中で変わりゆく家族のあり方

アメリア・ロー（香港）

高齢化社会は、どのように家族のあり方を変えていくのでしょうか。あなたは介護の問題をどのように考えていますか。あなたの国の制度について例を挙げながら、この問題に対するあなたの意見を聞かせてください。

高齢化は、私たち誰もが避けることのできない現象です。ただし、私たちが健康で無事に大人になり、幸運にも様々な試練や苦難を乗り越えて、齢を重ねることができればの話ですが。1971年と2015年とで比較すると、香港の男性の平均寿命は67.8歳から81.2歳に延びており、女性の平均寿命は75.3歳から87.3歳に延びています¹。

それでは、高齢化はどのように家族、特に核家族のあり方を変えていくのでしょうか。子供のいない高齢夫婦で、日常的に介護を必要とする人の26.3%²が、配偶者による介護を受けています。子供のいる夫婦に関しては、高齢化社会が各家庭に与える影響について理解することが非常に重要となります。次のような基準を満たすかどうかで、各家庭の事情が大きく異なってくるからです。

- (1) 進んで支援してくれる子供がいるかどうか
- (2) 家族が問題に前向きに向き合えるかどうか
- (3) 高齢者が心身共に健康であるか
- (4) 家族が同じ世帯に同居しているか
- (5) 高齢者が経済的・金銭的に独立しているか

(1) から (5) までの基準を満たし、家族関係が上手くいっていると仮定した場合、親が高齢になるということは、子の世代がこれまで以上に親を手助けしなければならないことを意味します。具体的には、自宅から職場まで車で送迎する、家事をする、買い物をする、精神的な支えとなる、新しい治療法や技術に関する情報を調べる、といった様々なレベルの社会的支援を行う必要があるということです。このような役目をこなすのは負担ではありますが、親孝行な子供なら、親から注いでもらった愛情にお返しをする好機ととらえ、微笑んで優しい言葉をかけながら親の世話をしましょう。

ジェンダーの視点からみた高齢化に関する研究からは、高齢化によって男性よりも女性の方がより深刻な影響を受けていることが分かります。嶺南大学のリー教授とクォック教授が390人の高齢者を対象に行った調査³から、次のようなことが明らかになりました。すなわち、高齢の女性は男性と比較して、成人した子供と同居する確率が低く、これまでの収入が低かったことから経済的問題を抱える可能性が高く、援助も受けにくいということです。確かに、私も友人や親戚から次のようなことを何度も聞かされたことがあります。それは、70代や80代の女性は、その年代になっても家族の世話をするという伝統的な性的役割を担うことが期待されており、夫のために料理や掃除をし、息子や娘が仕事で不在の時は孫の面倒を見るのが当然だと思われている、という話です。

デイケアやデイサービスの施設は、政府やカリタスなどの宗教団体を母体とする組織が運営していま

す。利用者である高齢者は、このような施設で新たな趣味を見つけたり、友人を作ったりすることができます。現在、公的および民間の居住型介護施設を利用することを選擇する子の世代が増えています。公的老人ホームには希望者が多く、3年程の長期間にわたり順番待ちをしなければならず、入居の順番が回って来る前に他界してしまう入居希望者も増加しており、2014年には5,568名⁴に上ったということです。こうした事態を受け、このような問題を専門に扱う専門委員会である安老事務委員会(Elderly Commission)が設置され、また議会によって法令による許認可制度が定められました。にもかかわらず、香港における民間のヘルスケアは、そのレベルにばらつきがあります。たしかに、ボランティアとして私が訪問した老人ホームの入所者の多くは孤独で、時には自分が閉じ込められ、裏切られたかのような感覚を抱いている様子でした。それは、衰えて自由が利かなくなってきた自分の身体に対して抱く嫌悪感だけではなく、自分をそこに閉じ込めた家族に対する反感も含まれているように感じられました。家族側としては、行き届いたケアをしてくれると信じてこのような民間の介護施設に入所させているにもかかわらず、結局のところ、スタッフの数もケアの質も十分なものとは言い難いというのが実情のようです。

最近、私も含め多くの香港の人々が失望し、激怒した出来事がありました。それは、大埔区にある老人ホームで、入所者が入浴の順番待ちをする際、屋外のテラスで全裸もしくは半裸の状態で90分間も待たされたというものです。この出来事をきっかけに、ある疑問が湧きました。それは、表沙汰になっていないだけで、実際はどれくらいの入所者が老人ホームで虐待やネグレクトの被害に遭っているのか。そして、そのような高齢者を助けるために私たちには何ができるのか、ということです。

中国の諺に、「年寄り家の宝」というものがあります。子の世代は、「親孝行」という伝統的な儒教の道徳概念に反抗し、手助けが必要となってくる親を老人ホームに入れるのではなく、同居して世話をする、もしくはより頻繁に親のもとを訪れる、というような方法をとることができるはずですが。また政府は、高齢者に対してディズニーランドの入場料を割引くことは別として、子の世代が親の要望により応えられるよう、トレーニングやサポートを強化していくべきです。高齢者の方々は、これまで生涯にわたり懸命に働いてこられました。そのような方々が、人生の次の段階で直面する課題に勇気と尊厳をもって立ち向かえるような社会に、私たちは共に力を合わせてしていかななくてはならないのです。

¹ 香港政府統計局

² 香港政府統計局

³ William Keng Mun Lee PhD & Kwok Hong-kin PhD (2005) Older Women and Family Care in Hong Kong: Differences in Filial Expectation and Practice, *Journal of Women & Aging*

ウィリアム・ケン・ムン・リー Ph.D. & クォック・ホン・キン Ph. D. (2005)

香港における高齢女性と家族による介護：子供からの「孝」に対する期待と現実における（男女間の）相違（仮訳）、*ジャーナル・オブ・ウィメン&エイジング*

17:1-2, 129-150, DOI: 10.1300/J074v17n01__10

⁴ “Challenges of population aging” (December 2015), Research Brief Issue No.1 of the Legislative Council of Hong Kong

「高齢化社会の課題」（2015年12月）香港特別行政区立法会研究概要第1号

